株式市場新聞
www.marketpress.jp
2020
11/23
月曜日
発行元　株式会社 株式市場新聞社
〒530-0005
大阪市北区中之島４－２－２８甲南アセット中之島ビル
TEL 06-6105-1904

日経平均株価
２万５５２７円３７銭
▼１０６円９７銭（前日比）
ＴＯＰＩＸ
１７２７．３９
▲０．９８（前日比）

クリスマス商戦に突入

やはりネットショップなど巣篭りか？

コロナ感染再拡大のなか

１１月下旬に入り、名実ともにクリスマス商戦に突入した。例年ならこの時期は秋のハロウィーン商戦を引き継ぐ形で年末へ向けて消費が盛り上がりを見せてくるが、新型コロナウイルスの感染が再度拡大するなかで、今年は旅行など外出による行動は控えめとなり、自宅で楽しむものが消費の中心となりそうだ。人気商品を扱う企業や小売りセクターでは巣篭りに重点を置いたものが人気となりそうで、これらで恩恵を受ける関連企業を探ってみた。

クリスマス商戦がスタートする

米国ではサンクスギビング（感謝祭）である１１月第４木曜日の翌日である金曜日がブラックフライデーと言われ、ここから名実ともにクリスマス商戦に突入、伝統的にこの時期から、スーパーや百貨店、ショッピングモールなどで大々的にセールを行う。

ブラックフライデーは日本では定着していないが、この時期にテーマーパークがクリスマスイベントを始めることにして商戦が盛り上がりを見せてくるが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、これらのイベントは控えめの傾向にあり、どちらかといえば、ネットショッピングなどを通じて自宅で楽しめるものを購入する動きが強まる見られる。

クリスマスでの人気商品と言えばゲーム機は外せない。**任天堂**（７９７４）の「Ｎｉｎｔｅｎｄｏ Ｓｗｉｔｃｈ」に加えて１１月１２日に発売された**ソニー**（６７５８）の新型ゲーム機「ＰｌａｙＳｔａｔｉｏｎ５」の動向も注目される。また、通販需要が増えれば、Ａｍａｚｏｎなど大手ＥＣサイトの配送を請け負う**丸和運輸機関**（９０９０）も恩恵を享受しよう。

加えて、クリスマスイベントを開催している**オリエンタルランド**（４６６１）運営の東京ディズニーランドなどの来場者回復も期待されそうだ。

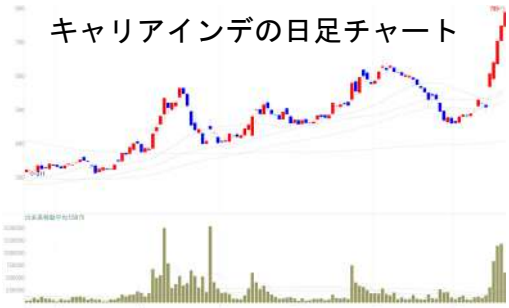
日経平均日足チャート

今週の動意銘柄

キャリアインデはS高

第2四半期は52%営業増益

週明け16日、**キャリアインデックス**（6538）がストップ高。21年3月期の第2四半期累計決算をは、連結営業利益で2億1900万円（前年同期比52・1%増）と大幅な増益となった。新型コロナの影響が限定的な分野へ積極的に営業を行い、パートナーシップ強化や新規提携先を拡大したほか、サイト改善、マーケティング活動とサービス拡充のための機能を強化した。



Chatwork失望売り

Chatwork（4448）がストップ安。20年12月期通期の単独業績予想について、営業利益を2億3100万円～3億5900万円から2億8900万円（前期比3・7倍）に修正した。テレワーク需要の拡大で業績躍進が続いてきたが、需要が一巡したとしており、失望売りがかさんだ。第3四半期累計は2億8700万円（前年同期比4・7倍）で着地した。

UMCエレ黒字浮上

17日、**ユー・エム・シー・エレクトロニクス**（6615）が続騰。21年3月期第2四半期累計の連結決算で、営業損益が7100万円の黒字（前年同期5億7000万円の赤字）に浮上した。1Qは3億9100万円の赤字（前年同期4億2900万円の赤字）で着地したが、ウィズコロナ体制が徐々に整い経済活動が再開されたことで収益が急回復した。

スカラ大幅下方修正

スカラ（4845）がストップ安。21年6月期の連結業績予想について、売上高を100億～130億円から90億～120億円、営業利益を31億～35億円から1～5億円へ大幅に下方修正した。

ミダック利益急拡大

ミダック（6564）が一時ストップ高で上場来高値更新21年3月期第2四半期累計の連結決算は計画を上回り、売上高27億9500万円（前年同期比15・3%増）、営業利益9億1400万円（同54・7%増）と2ケタ増収で利益が急拡大した。

ソフトブレーン（4779）株式売却によりソフトブレと子会社が非継続事業に確定。大型プロジェクト推進ね人材、体制構築のためのコストが収益を圧迫する。

エンプラス自社株買

エンプラス（6961）が急伸。自己株式取得枠の設定を発表した。上限50万株（発行済株式総数に対する割合4・19%）または12億5000万円で取得期間は11月17日～3月31日まで。

日エンタWeb会議に顔認証

18日、**日本エンタープライズ**（4829）が急伸。Web会議システム「NEEDS」（ニーズ）に顔認証機能を組み込んだバージョンアップ版のサービスを11月20日から開始すると発表したことを受け、利用増と収益貢献を期待した買いを集めた。簡単な顔認証による登録で、機密性の高い内容の会議も安心、簡単に利用できる。

正直じいさんの株で大判小判

20日の東京市場は3日続落です。新型コロナの感染が再拡大していることへの警戒感が強く、時間外の米株価指数先物下落を受け売りが優勢でした。3連休前の週末で売り買いともに手控えの動きですが、日銀ETF買い観測から押し目は買われています。ただ、業績回復期待の強い半導体や米アップル関連銘柄、先に調整していた銘柄や出遅れ銘柄が買われ、日本金属がストップ高となるなど材料銘柄の物色意欲も旺盛で下値を売り込みにくい状況です。

推奨銘柄では5）が最高値を13）も堅調で、底堅く推移して直りの動きを強（9450）に追撃買いを入れました。中小型では調整一巡から出直る銘柄が散見され、連休明けの動きを見て銘柄を選別するつもりです。

花咲 翁

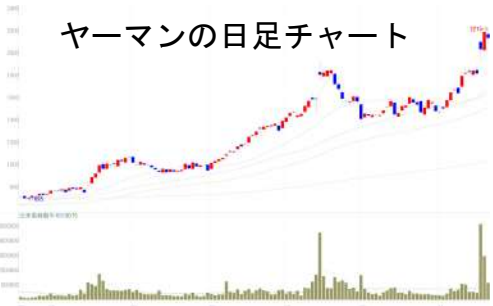
ファイバーGTに追撃買い

JTOWER（4448）更新、**エムスリー**（2413）他候補銘柄もおおむねおり、前日に続いて出めてきた**ファイバーGT**

ヤーマン急伸し高値

21年4月期は大幅上方修正

ヤーマン（6630）が急伸、年初来高値を更新した。18日、21年4月期の業績予想について、連結売上高で260億円から350億円（前期比52・3％増）、営業利益で26億円から58億円（同2・3倍）へ上方修正した。在宅時間が長くなり、美容健康機器が絶好調となる中、多種多様な品揃えや販売チャネル多角化が奏功、特別給付金効果による需要捕捉に成功した。



ツインバード信用規制

ツインバード工業（6897）が大幅続落。前日は米モデルナの新型コロナワクチンが一般冷蔵庫の温度で保管できることから、超低温保冷庫需要への思惑後退で反落したが、この日売買分から東証が信用取引の委託保証金率を70％以上（うち現金40％以上）へ引き上げたことで買い手控えられ値を崩した。日証金も同様に貸借取引の担保金率を70％（うち現金40％）に引き上げた。

感染対策銘柄買直し

19日、大幸薬品（4574）が値上り率上位に買われたほか、川本産業（3604）も続騰するなど、新型コロナ感染対策銘柄が買い直された。世界的に新型コロナ感染者数が再拡大するなか、国内でも前日に全国の感染者数が2000人を超えるなど過去最多を更新したことで、改めて関連銘柄が関心を集めた。高値から大幅に調整、当面の底値圏からの出直りで、戻り売りも出にくく、短期資金が攻勢に出たようだ。

シャープ日経平均採用

シャープ（6753）が3日続伸。18日の取引終了後、日本経済新聞社は同社株を日経平均構成銘柄に新規採用すると発表したことが材料視された。NTTドコモ（9437）がNTT（9432）によるTOBで上場廃止になった場合に伴う措置。新規採用候補の一つには上がっていたが、ほかにも候補銘柄があったことから、パッシブファンドの買い需要を先取りする動き。

コロナショック暴落は10年に1度の買チャンス・日経平均30000円目標

(実績40年)自信の的中率・最近の底値買指示銘柄例(よくお調べください)(11月16日)

トヨタ→6000円前後買→7500円に上昇押目後いづれ8000円前後へ
コマツ→1600円前後買→2580円に上昇押目後いづれ3000円前後へ
日本郵船→1200円前後買→2150円に上昇押目後いづれ2500円前後へ
三井金属→1800円前後買→3095円に上昇押目後3000円前後へ
ツムラ→2400円前後買→3440円に上昇押目後3500円前後へ
アルプス→900円買前後買→1770円に上昇押目後2500円前後へ
東海カーボン→800円前後買→1298円に上昇押目後1500円前後へ
ヤマハ発動→1200円前後買→1962円に上昇押目後2500円前後へ

◎株は論より証拠・上記の如く大幅高予想銘柄ズバリお知らせします(1回無料)(成果確認)

インターネットでの特選銘柄はここをクリック！　大伸経済研究社

金融商品取引業者 登録番号 東海財務局長(金商)第45号(一般社団法人)日本投資顧問業協会会員(少数会員制)

電話058-243-5690 (午前8:30～11:00)
〒501-3144 岐阜市芥見大般若2-25-2

日本金属は続急伸

注射針向けステンレス鋼出荷

19日、**日本金属**（5491）が続急伸。21年5月に施行される欧州医療機器規則コバルト規制に対応する注射針向けステンレス鋼「NK-304NKM」を11月30日から出荷を開始すると発表したことが引き続き材料視された。NK-304NKMは「痛くない針」を代表としたインスリン用向や美容向など〝細径向〟が選ばれ世界中で使用されており、コロナワクチン投与で需要増が期待された。

公開価格の2・2倍

アララの初値

週末20日、前日に東証マザーズ市場に新規上場した**アララ**（4015）が公開価格1400円の2・2倍となる3080円で初値が生まれた。同社はキャッシュレスサービス事業、メッセージングサービス事業、データセキュリティサービス事業などを行う。

21年8月開業目指す

企業レター

大和ハウス工業

ネシアで日本人向けサービスアパート

大和ハウス工業（1925）は**双日**（2768）と双日グループがインドネシアで開発・運営する総合都市デルタマス・シティ内に日本人家族向けサービスアパートメント「ヴィアアルマ コタ デルタマス」を開発、21年8月に開業を目指す。

デルタマス・シティは首都ジャカルタから東へ約40㎞、インドネシアに進出する日系企業の約半数（約900社）が集積するブカシ県、カラワン県の中核に位置する。19年4月に在インドネシア日本国大使館付属のチカラン日本人学校が開校、官民合同でスマートシティに関わる調査が進められるなど、今後も発展が期待されている。

双日とは日本人駐在員とその家族の住環境の整備を目的に、日本人学校の隣接地に施設の開発・運営を行うことで合意しており、現地法人のpt. Daiwa Tetra Manunggal Konstruksiが施工、日本式ユニットバスの導入など日本仕様で造り込んだ居住空間を提供する。隣接する日本人学校へは専用通学路を設け、付帯施設の充実や日系クリニックや進学塾、幼稚園などテナント誘致も予定している。

栄研化コロナ検出試薬

栄研化学（4549）が急伸。LAMP法を用いた新型コロナウイルス検出試薬キットとRNA抽出試薬キットがCEマーク認証を取得、EU加盟国で体外診断薬としての販売が可能となったと発表した。今後、感染が急速に拡大しているその他の国・地域にも検出試薬を供給していく。

今週の動意銘柄

クレアHD総会中止

クレアホールディングス

クレアホールディングス（1757）が急落。臨時株主総会の開催中止と基準日取り消しを発表した。株主総会の請求株主が株主に議決権行使書と委任状の郵送を条件として粗品を提供、抗議しても行動が改まらず、公正な決議ができないと判断した。

転ばぬ先のテクニカル

急騰一服

米大統領選挙を境に勢いづいた相場は、その余勢を駆って週明け16日は上放れてスタート。17日には日経平均が2万6000円台に乗せました。しかし、その後は国内でも新型コロナ感染者が急増したことで週半ばからは3日続落となりました。週足は前週比で上を取りましたが、高値からは600円超押した形です。10月30日安値からわずか11営業日で3109円もの急騰となりましたので、ここでの押し目は当然でしょう。

20日の日経平均は上げ幅の約20％押し水準までありました。通常の相場であれば38．1％押し程度でしょうから、2万5000円割れ程度が望ましいところ。一目均衡表では転換線にタッチしてきており、浅い押しならばこの辺りかもしれませんが、次の日柄変化日は今週26～28日前後となっており、今週は目先的には買い場探しとなるのかもしれません。

日々勇太朗

高野恭壽の株式情報 これでどや!!

株式市場新聞の名物コーナーが復活！

感染拡大と追加対策の綱引き

3連休前の東京市場は調整色の強い展開になりました。日経平均は2万6000円と突破したあとに利益確定売りで調整するとし、2万5500円割れが目先的に下落のメドとみていましたが、ほぼ予想通りの展開になりました。下落幅が縮小してもすぐに戻りが大きくなる可能性は薄いとみられます。新型肺炎の感染拡大の急増によって経済への影響が強まっていくとの懸念がでており、状況を見守る動きになると考えられるためです。感染拡大が止まらない米国では見送られていた追加経済対策が民主党と共和党との間で再開され始めたことで、それを期待する動きがでてきた下落が一旦収まっていました。今後、その期待と患者急増による影響との綱引きで相場は左右されるでしょう。

当欄の一貫推奨の**岩谷産業**（8088）が一服局面となりましたが、5000円前後が下値のメドとみています。**三井金属**（5706）も3000円を割りこみました。ここからの下値は拾うべきとみています。**野村ホールディングス**（8604）は続落しましたが、押し目買いが入り下落幅が縮小して終えました。この辺りからの下値は執拗に拾う作戦を続けるべきとみています。**丸紅**（8002）もほぼ売り一巡の動きがみられました。

NEC（6701）はスーパーコンピューターの100万円前後の普及型を発売することが材料視され、引き続き注目です。**インターネットイニシアティブ**（3774）はビットコインシステムを利用した銀行決済システムの構築に深く関係しており、意外高が期待できるとみています。

IIJは意外高期待引

高野恭壽（たかのやすひさ）**氏**　株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家へ。講演会のほかラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめＴＶ、ラジオに出演。「株式投資30カ条」など著書も。
公式ホームページ
https://marketpress.jp/kabu-takano/

購読会員募集中！

株式市場新聞では、購読会員を募集しています。

値幅取り候補銘柄！！

【正直じいさんの株で大判小判】でお馴染みの花咲　翁氏が
独自の分析で値幅取り候補銘柄を紹介します。

https://marketpress.jp/kabu-takano/

株式市場新聞 公式メールマガジン

優良銘柄に加えて新興銘柄のタイムリーな限定情報が満載！

https://www.mag2.com/m/0001678061.html

株式市場新聞
www.marketpress.jp

相場展望

中長期上昇波変化なし

ＴＯＰＩＸ型銘柄巻き返しも

光世証券
取締役 **西川 雅博 氏**

日経平均がわずか１０営業日で３０００円に及ぶ上昇となると、さすがに高値警戒感が台頭するのも止むを得ない。足元では新型コロナ感染者数の拡大とワクチン開発の進展という強弱対立する材料に焦点が当たっているが、世界経済が来年にかけ回復が続くというシナリオは簡単に揺らがないだろう。スピード調整があっても中長期の上昇波動という大きなトレンドに変化はない。

主要先進国ではコロナ前から超低金利が続いていたが、コロナ禍によってさらに「金利水没」という未曽有の時代に突入した。実体経済に先駆けての株高は改めて資産形成の重要性を明らかにした側面もある。足元の日本市場では、２４日以降振り込まれるＮＴＴドコモのＴＯＢ買取り資金（約４兆円）が株式需給に好影響をもたらしそうだ。カーボンニュートラルやウイズコロナといった時代の要請に応える企業はグロース、バリューという区分に関わらず折に触れ投資対象となるだろう。低ＰＢＲや高配当などオーソドックスな株式指標と共にサステイナブル（持続可能）という視点も必要である。

ここから年末に向けては追加経済対策やワクチン実用化への期待からＴＯＰＩＸ型銘柄の巻き返しもあり得よう。いずれにせよ、グロースかバリューかといった短期的な物色動向に右往左往しないことが重要だ。一方来年以降にはワクチンが実用化され、アフターコロナを意識する局面で出口戦略の議論が高まる可能性がある。ワクチンが普及し一刻も早い新型コロナの収束と経済活動の正常化が望まれるが、他方金融市場においてはリスクオンからオフへの切り替わりに要注意となろう。

購読会員募集中！

高野恭壽の株式情報 これでどや!!

アンジェスは紹介後に株価６倍化！！

https://marketpress.jp/kabu-takano/

株式市場新聞
THE KABUSHIKI SHIJO SHINBUN

チャートから読む騰落銘柄

ブイキューブ（3681）

１１月１１日に５０日線割れとなる２０７１円まで突っ込んだ後に急速に戻す動きとなり２５日線を支持ラインに上昇基調継続。４６万株超増えた売り残の買い戻し進めば１０月２０日高値２８３３円奪回へ。

ファイバーゲート（9450）

２５日線割れから切り返し、日足が再び陽転。大勢上昇トレンドのなか、１０月２０日に付けた実質最高値２４８２円奪回から一段高を目指す。好業績、好需給が株価を押し上げ、テレワーク関連としても関心。

ぐるなび（2440）

１０月２６日に７９３円まで戻した後は下落基調続き、８月３日の安値４４１円を割れれば２２１万株超の買い残からも底割れの可能性。新型コロナ新規感染者急増で、忘年会需要も望み薄で更なる業績悪懸念。

チエル（3933）

今３月期上方修正も出尽し感。２５日線に上値を抑えられ下値模索が続く。１３週線、２６週線も割り込み、日足に続いて週足も陰転の方向で、当面１２カ月線が走る１６００円近辺までの調整も。

※チャートは日足

敏腕先物ディーラー

ハチロクの裏話

ハチロクのプロフィール

証券アナリストから証券会社の法人部長を経て、２２５先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時も乗り越えて西日本における２２５先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。

NTTドコモTOB還流資金に期待

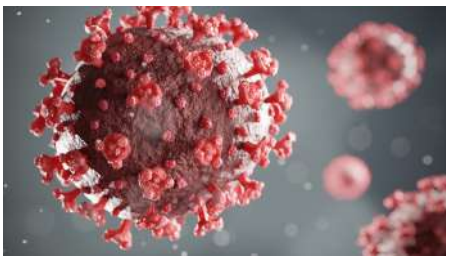
短期調整も押し目買い好機

先週の日経平均は前週末比約１４１円高と３週連続で上昇した。週初は前々週の勢いを継続し１７日には２万６０５７円３０銭まで上昇、２９年半ぶりの２万６０００円台を回復した。２日安値から１７日のザラ場高値まで１１月に入って１１日間で約２９６０円上昇、さすがに週後半は利食い売りに押され反落した。新型コロナウィルスの１日当たり新規感染者数が過去最大になるなかの高値更新で違和感はあるが、過剰性流動相場は継続していると見られる。

相場サイクルでは業績相場に移行して一段高というのが期待されるが、ＡＮＡやＪＴＢなど就職人気企業の大幅赤字やリストラが日々発表される中、業績相場への移行はもう少し時間がかかりそうである。ただ、相場はここ数年の上値であった２万４０００円の壁を明確に抜けてきて累積売買代金の少ない価格帯に入ってきた。短期の調整を入れたとしても押し目買いの好機となる可能性が高く底堅い展開は続こう。今週はＮＴＴドコモのＴＯＢに伴う換金資金が２４日より市場に入ってくる可能性が高い。約４兆円のＴＯＢであるがパッシブ運用に関するものが約７０００億円とも言われている。この資金が時価総額上位銘柄の下支えになるとの期待は大きい。

チャート的には大幅上昇後の短期調整に入っている。５日移動平均線（２万５７６２円処）を下回り一目均衡表の転換線（２万５４４５円処）を意識した動きとなっている。拡大していたボリンジャーバンドもバンドが収斂してきており当面は揉み合いを示唆している。２万５５００円割れで止まれば、２万６０００円台に再びチャレンジで揉み合い後高値更新の可能性は高い。しかし、新値三本足陰転値の２万５３４９円６０銭を下回ってくると調整は長引きそうである。

今週は２万５３００円から２万６０００円を想定。底堅い展開を想定する。（**ハチロク**）



新型コロナ１日当たり新規感染者数過去最大

NTTドコモＴＯＢの還流資金の行方は？

日経225先物の日足チャート

星野三太郎の株街往来

～かなり深刻な失業者増～

新型コロナウイルスの影響で仕事を失った人が、見込みも含めて全国で７万人を超えたことが厚生労働省の調査で明らかになった。この調査はハローワークなどを通じて行ったものであるから、失業保険が適用されていないアルバイトなどで解雇された方を含めれば、実際には、この７万人を遥かに超える失業者が存在するだろう。

ニューヨーク市場の最高値や日経平均が２９年ぶりに高値を付けた報道を見て、世界経済は持ち堪えていると思ってしまう。今回の第２四半期決算でも上方修正した企業が多いが、好調なのは電子部品の一部大手と人を必要としないテレワークに関連する企業だったり、製造業など旧来型の企業では壊滅的な予測を立てていたのが、そこまで悪くなかったという企業が大半だ。

中小企業の経営は深刻で、これから年末へ向けて資金繰りが悪化する企業が増えてくれば、雇用調整助成金などによる支援策も焼け石に水になってくる可能性がある。旧来型のハローワークの就業支援も限界に来ている。大胆な失業対策が急務だろう。

New product

レッグス　「鬼滅の刃」フレーム切手

全国の郵便局限定で販売開始！

「鬼滅の刃」グッズ

レッグス（４２８６）は全国約２０００の郵便局と「郵便局のネットショップ」で郵便局限定「鬼滅の刃」グッズを、全国約１０００の郵便局と「郵便局のネットショップ」とカタログで、オリジナルフレーム切手「鬼滅の刃」を販売している。

主人公「竈門炭治郎」や同僚剣士の「我妻善逸」「嘴平伊之助」、炭治郎の妹の「竈門禰豆子」、鬼殺隊“柱”の「煉獄杏寿郎」をメインに郵便局オリジナルで描き起こしたアートを使ったグッズや、ＴＶアニメ「鬼滅の刃」のアートを使ったオリジナルフレーム切手が登場。ファン垂涎のアクリルキーホルダーやフレークシールをはじめ、コミカルなキャラクターがかわいい通帳ケースやレトロモダンなデザインのオリジナルフレーム切手など、郵便局限定商品も販売している。

アサヒＧＨＤ　濃い贅沢濃厚いちご

カルピスサワーから冬限定で

カルピスサワー冬限定濃い贅沢濃厚いちご

アサヒグループホールディングス（２５０２）グループのアサヒビールは、ロングセラーブランド「カルピスサワー」から「カルピスサワー　冬限定濃い贅沢濃厚いちご」を１２月１日に全国で発売する。

濃い味わいの「カルピス」に濃厚ないちご果汁を加えた、芳醇で華やかな香りと甘ずっぱい味わいが楽しめる缶チューハイ。定番の「カルピスサワー」に比べ、乳成分などを多く使用し、アルコール度数を５％と高めたことで、しっかりとした飲みごたえを実現している。パッケージは、深い赤色を基調とした背景にゴールドの水玉を描き、濃厚な味わいの「カルピスサワー」を表現している。

記者の視点

相場見通し

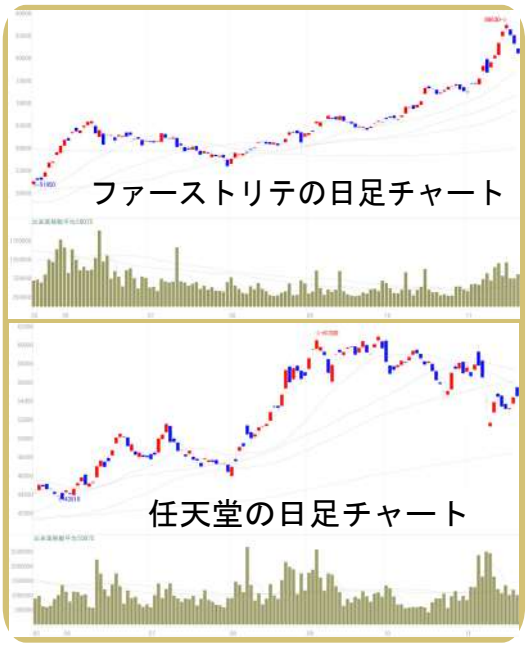
上方乖離縮の小待ち

年末のIPOがスタート

11月第3週の東京市場は新型コロナウイルスの1日あたり感染者数が過去最多になるニュースが流れると14時20分ごろから下げ幅を拡大させていた。国内外とも感染拡大傾向にあることは先週から報道されていたことだが、第2四半期決算発表が終了し手掛かり材料難となるなかで、感染拡大が改めて利益確定売りの材料にされたようだ。

今週は23日が勤労感謝の日で祝日となり、その3連休中にはG20サミットがオンラインで開催されるが、マーケットに大きな影響を与える材料は出ないと見る。引き続き感染拡大動向とニューヨーク市場の動きを睨む展開。米国は新型コロナワクチンの承認接近が期待材料だが、追加経済対策で共和党と民主党とで協議が再開され、これがどこまで歩み寄れるかに注視したい。日経平均は2万5000円近辺までの調整も想定されるが、移動平均線との乖離縮小待ちだろう。

個別では指数上昇を牽引してきた**ファーストリテイリング**（9983）の調整が続く一方、**任天堂**（7974）が出直る動き。新型コロナ感染拡大により改めて巣篭りでゲームへのニーズが高まれば、クリスマス商戦絡みでも再度注目されよう。25日の**MIホールディングス**（4016）を皮切りに年末のIPOがスタートすることから、グロース系に資金が向かう可能性も。



今週のスケジュール

- 21日　20カ国・地域首脳会議(G20サミット)(～22日オンライン形式で開催予定)
- 24日　10月全国百貨店売上高(14:30)
  独Ifo11月景況感指数(18:00)
- 25日　10月企業向けサービス価格指数(8:50)
  米7-9月期GDP改定値(22:30)
  11月4・5日開催のFOMC議事録
- 26日　休場:米(感謝祭)
- 27日　米ブラックフライデー

編集後記

ワクチン期待に怒涛の連騰で29年ぶり高値水準に浮上したが、国内外のコロナ感染再拡大により、混とんとした状況になった。実用化にはまだ時間がかかることも感染再拡大も予想されたことだが、週初と週末では相場の景色が全く違う。今後もワクチン開発と感染状況のせめぎ合いで投資家心理が揺らぎ、物色の流れも変化していくのだろう。

もっとも、個別に手掛けづらさは否めない。バリュー株は戻り待ちの売りが待ち構え、グロースも上値にシコリをつくった。「休むも相場」かも知れない。

【ご注意】株式市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測の的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被られたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。